

授業科目名 <英訳>		医学コミュニケーション・基礎 Medical Communication: Introduction			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 前期前半	曜時限	火5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
I. コースの概要 本コースは医学研究科社会健康医学系専攻のMPHコア科目の一つです。 医学コミュニケーションの基礎講座として、さまざまなバックグラウンド、専門、興味を持つ学生への対応を目的とした基本的事項を網羅し理解、検討を行う。											
コースの概要 本コースは医学研究科社会健康医学系専攻のMPHコア科目の一つです。 医学コミュニケーションの基礎講座として、さまざまなバックグラウンド、専門、興味を持つ学生への対応を目的とした基本的事項を網羅し理解、検討を行う。											
[到達目標]											
学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） 医学コミュニケーションの基本的枠組み、コンセプトを理解する。 医学の「社会科学的側面」（社会学・コミュニケーション学を手掛かりに）を理解する。											
[授業計画と内容]											
1 4/21イントロダクション 2 4/28医療と社会とコミュニケーション1 3 5/12外からの風を病室に：京大病院にこトマの活動（神田美子氏 にこにこトマト代表） 4 5/19医療と社会とコミュニケーション2 5 5/26コミュニケーション学の基本の「き」： 非言語 x 言語 x チャネル 6 6/2 医療と時間と空間： 続・非言語コミュニケーション 7 6/9 講義まとめ											
[履修要件]											
選択必修											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点（授業参加度も含む） 50% レポート 50% 「一言宣言」 5% + タイトル10% + 最終版 35%											
----- 医学コミュニケーション・基礎(2)へ続く↓↓↓											

医学コミュニケーション・基礎(2)

[教科書]

ハンドアウトを配布する

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習（予習・復習）等]

コミュニケーション学の中で興味のあるリーディングを読むことを推奨する。

(その他（オフィスアワー等）)

「授業参加・貢献」を重視しているため、自発的発言を求める。
医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。
障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮（Accommodation）が必要な場合、早めに相談に来ること。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。